

民生病院教育常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて可決すべきものと決定しました。主な審査内容は次のとおりです。

☆H23一般会計補正予算⑥

○老人福祉費

問 地域・企業・行政が連携し、高齢者を見守り支援する「地域高齢者見

答 守りネットワーク事業」は、23年度中に構築できるか。

答 当面は関係する事業所等の協力を求めていく。また、24年度も引き続き広がっていききたい。

○障害福祉サービス費

問 福祉マップは、前回のマップから改善される点はあるのか。

答 精神・知的・身体の3つの障害に関連した施設や福祉事業所等の情報を掲載してほしいとの意見がある。それらの意見を反映した作成に取り組み予定でいる。

○児童福祉総務費

問 放課後児童クラブ施設整備事業で、金谷小学校に予定している施設が定員60人ということだが、夏休みなどで子どもの数が増えることが予想されるが大丈夫か。

答 夏休み等の短期間の利用希望者は、長期休暇児童クラブでの対応も想定している。

問 保育園民営化事業について、3カ月の引き継ぎ期間中に、移管先法人・

金谷中央保育園・児童課・保護者の4者間で引き継ぎの成果を確認するための会議を開催する計画はあるか。月2回くらい必要ではないか。

答 月に最低1回は開催する必要があると思っっている。保護者に安心してもらえるよう、開催していきたい。

問 行政改革大綱には、金谷中央保育園の次に、かね保育園の民営化も示されていたが、予定通り進めるのか。

答 まずは、金谷中央保育園の民営化後の運営をしっかりと見守っていききたい。次の段階として、計画にもあるように、かね保育園の民営化を考えている。

○少子化対策費（不妊治療費助成事業）

問 補正で700万円増加ということは、当初予定していたよりも人数が多かったのか。また、この補正によって希望者に対して100%要望に込んでいるか。

答 申請者の数が増えているが、条件にかなって



北部デイサービスセンターでの活動風景

☆指定管理者の指定について（北部デイサービスセンターほか）

いる方に対してはすべて交付している。

問 21年度から比べると、全体の額が増えている。傾向的なものはどうか、また、次年度以降、今の助成条件を継続していく予定か。

答 21年度は、治療費の2分の1で50万円を限度としていた。現在は、それを撤廃し、全額を対象としている。全額助成ということ、1人当たりの助成額も増えているが、今後、このままでいくことを考えている。

問 この施設は、市として指定管理料を支出していない。指定管理とする必要性はどこにあるのか。

答 平成12年4月からの介護保険制度施行の際に、介護事業の担い手となる事業者がこの3地区には全くなかった。そのため、社会福祉協議会の協力を得て、これらの施設の事業を行ってきたという経過がある。



民営化が計画されている金谷中央保育園

経済建設文化常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて可決すべきものと決定しました。主な審査内容は次のとおりです。

☆H23 一般会計補正予算⑥

○環境保全型農業直

接拡支援交付金

問 補助内容を問う。

答 環境保全型農業とは、化学肥料や農薬などの使用による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業を指し、交付額は10万円当たり4千円を限度とする。

ものである。現在12人が申請している。

○全国茶サミット静岡大会in島田市実行委員会補助金

問 700万円という高額の補正だが、内容を問う。

答 東京への事前PR、島田市の3産地のお茶のPR事業、茶サミット周知のホームページの開設、

本大会の演出効果を高めるための映像制作等を精査した増額である。

問 東京への事前PRには誰が行くのか。

答 担当職員3人、茶業振興協会、茶娘など総勢12人である。職員以外の経費は、茶振協の負担とした。経費の負担に対し茶振協の各支部長より指摘を受けたが、今回の趣旨を理解してもらい了解を得た。

○中央公園ミ

ニ鉄道施設における車両の追加購入に要する経費

問 車両を買うべきと判断した理由は何か。

答 予想を上回る利用者があり、故障により2回運行を中止した。

このまま1台の車両で運行していると、場合によっては運行を停止しなければならぬ事態も予想されるため、1台の追加が必要と判断した。

問 車種を新幹線型にしたが、車種の違うSLを何種類かそろえる考えはなかったのか。

答 事業コンセプトはSLでスタートした。しかし、もう1点の大きな目的として親子の触れ合いの場の創出がある。新幹線型の車両の所有者に走行してもらったところ、大変な人気であった。アンケートでも新幹線型の希望が強かったため選定した。

○阿知ヶ谷東光寺線改良事業

問 進捗状況を問う。

答 20年度から舗装打ち替えを実施しており、計画では東光寺インターから岸元島田線の2050mを全延長としている。本年度、この補正予算の事業が終わると、400mを残すのみとなる。25年度には完成する予定である。

☆工事請負契約

大草市営住宅の最終工事となる4棟目の工事であり、鉄筋コンクリート造1棟4階建て、2DK24戸の建築工事である。入札は、市内5社、市外4社の計9社が参加した結果、(株)小沢組が3億1

500万円で落札した。**問** 予定価格に対して落札率99・59%である。説明を求む。

答 入札の結果は適正に処理されている。落札率は設計金額に対して90・63%で、約1割近くコストダウンしている。



大草市営住宅の完成予定図



全国茶サミット静岡大会in島田市

ザッ 討 論

賛成 ↓ 反対 結果は表のとおり

【議案第74号】

○平成23年度一般 会計補正予算（第 6号）

議案第74号に反対

①今後3年間、学校給食を民間委託する経費が計上されている。安全で豊かな学校給食づくりは民間委託でなく、市直営で行うべきだ。②金谷中央保育園の民営化準備で、引き継ぎ保育の経費が計上された。経営が民間に移ることは責任も移るといふことであり、市が保育行政から遠ざかる民営化に反対する。③家山駅前の観光公衆トイレの減額は問題だ。

大井川鐵道が設置を断った理由を当局は聞き出せなかった。同社と島田市のこれまでの深い関係からは理解できない。市は年度末まで実現を追求するべきだ。

議案第74号に賛成

今回の補正は、歳入歳出それぞれ3億4844万1千円を減額して、予算の総額を336億45万円とするものである。

補正の主な内容は、農林業費では全国茶サミット静岡大会in島田市への補助金の増額、商工費では家山駅周辺の観光公衆トイレの設置が困難になったことによる減額、消防費では東日本大震災で消防団員の公務災害補償費が増加したことによる共済掛け金の増額である。

議案第74号に反対

公立保育園は、子どもを心身ともに健やかに育てるための水準を市町村の責任において保つべき所であり、保育に対する

いづれも適切に必要な予算措置がされていると
考え賛成する。

採決結果一覧（22議案中、賛成・反対が分かれた2議案を掲載）

○=賛成、△=棄権 ×=反対、- =欠席		H23 一般会計補正予算（第6号）	島田市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について
氏名	会派名		
◎会派名 新生=新生しまだ 維新=維新塾 清流=清流会 創造=創造島田 共産=日本共産党 島田市議団 公明=公明党 島田市議団 明政=明政会			
藤本善男	創造	○	○
八木伸雄	創造	○	○
村田千鶴子	新生	○	○
曾根嘉明	新生	○	○
橋本清	公明	○	○
仲田裕子	清流	○	○
星野哲也	清流	○	○
桜井洋子	共産	×	×
杉村要星	維新	○	○
佐野義晴	維新	○	○
紅林貢	維新	○	○
原木忍	明政	×	×
清水唯史	創造	○	○
平松吉祝	新生	○	○
小澤嘉曜	新生	○	○
富澤保宏	公明	○	○
大石節雄	清流	○	○
溝下一夫	清流	○	○
松本敏	共産	×	×
坂下修	維新	○	○
福田正男	維新	○	○
河原崎聖	明政	×	○

※議長は採決には加わりません。（議席順。敬称略）

需要は、公立保育園で満たさなければならぬ。

金谷地域の公立保育園をなくすことは、保育園を選ぶ際の選択枝を狭めることになる。行政コスト論だけで保育園を民営化することには賛同できない。

今後、かねね保育園、第一保育園の民営化を進め、第三保育園については、当分の間、存続の方針だが、今一度、公立保

育園の存在を考慮すること
を要望する。

【議案第82号】

○島田市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

議案第82号に反対

島田市が、医師を除く市職員の給料をマイナス0・24%減額することに

反対する。その影響は、40歳以上の職員に集中し、649人が対象となる。島田市のラスパイルス指数は100を下回り、生活実態は厳しいものがあるのに、国の人事院勧告にそのまま準拠したやり方は、容認できない。下田市では、独自に県のやり方に倣って0・19%の減額を採用している。3年連続の給料の引き下げは、市職員の生活に深刻な影響を及ぼし、働く意欲をも阻害するものだ。

議案第82号に反対

今回、政府が人事院勧告通りの給与改定を行わないため、総務省は「地

方公務員の給与の改定について、人事委員会を置いていない市町は県人事委員会における公民給与調査結果等も参考に、地域の民間給与を反映させた適切な改定を行うことが重要である」と地方自治体に通知している。このことから、今回の給与改定は、静岡県人事委員会の勧告0・19%の引き下げも踏まえて改定すべきである。島田市の給与のラスパイルス指数は、国や県より低い水準なので、引き下げ幅を考慮すべきである。

議決結果一覧

市議会11月定例会は、11月22日から12月16日までの25日間の会期で開催されました。

審議した議案は、補正予算案7件、条例案3件、一般議案8件、物損事故の和解等の報告7件、議会側からの提案4件です。

一般質問には

12人が登壇

今回の定例会では、2日間にわたり12人の議員が一般質問を行いました。取り上げられたテーマはバラエティーに富んでいましたが、がれき処理や災害時の対応・放射能検査といった災害関連のもののが最も多く、次いで相次ぐ教員の不祥事への対応など教育関連のものが多く出されました。

一般会計補正予算

今回の補正では、全国茶サミットへの補助金の増、家山駅に設置する予定だった観光公衆トイレの建設取り止め、中央公園のミニ鉄道の新幹線型車両1台の追加購入、消防団員の公務災害補償費が増加したに伴う共

指定管理者の

指定について

济掛け金の引き上げ、金谷中央保育園の民営化準備のための引き継ぎ保育の経費などが盛り込まれました。問題とされたのは、なぜ大井川鐵道がトイレの設置を断ってきたのか、金谷中央保育園の民営化は適切か、開業1年も経たないミニ鉄道の車両購入は必要かといった点などでしたが、最終日には賛成多数で可決されています。

島田市職員の給与に

関する条例の改正

国や県の給与水準と比べて低い状況にある島田市職員の給与を、さらに県の勧告を上回る率で減額することについては是非が問われました。これについても、最終的には賛成多数で可決されています。

工事請負契約(大草住宅

第4期建設工事)

100%に近い落札率について疑問視する意見もありましたが、全員賛成で可決されました。

○全員賛成で可決

- 平成23年度補正予算のうち
 - 一般会計補正予算(第5号)
 - 国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
 - 簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
 - 公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
 - 介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
 - 水道事業会計補正予算(第1号)
 - 島田市税条例等の一部を改正する条例について
 - 島田市立保育所設置条例の一部を改正する条例について
 - 指定管理者の指定について(島田市かなや会館)
 - 指定管理者の指定について(島田市北部デイサービスセンターほか)
 - 指定管理者の指定について(島田市川根介護予防防犯拠点施設)
 - 指定管理者の指定について(島田市ばらの丘公園)
 - 指定管理者の指定について(島田市地域交流センター)
 - 指定管理者の指定について(島田市金谷生きがいセンター)
 - 指定管理者の指定について(東海道金谷宿お休み処)
 - 工事請負契約について(大草住宅第4期建設工事)
 - 島田市議会基本条例の一部を改正する条例について
 - 島田市議会会議規則の一部を改正する規則について
 - 自然エネルギーの利用促進に関する意見書
 - 議員派遣について

○賛成多数で可決

- 平成23年度補正予算のうち
 - 一般会計補正予算(第6号)
 - 島田市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

○その他

- 専決処分報告について(物損事故に係る和解)(6件)
- 専決処分の報告について(人身事故及び物損事故に係る和解)

議会報告会の開催報告

(開催日) 平成23年11月12日(土)・19日(土)

島田市議会主催の「市議会報告と市民との意見交換会」を市内6会場で行いました。
今回は、「防災について(災害対策と自主防災訓練等)」をテーマに意見交換を行いました。

病院の建設問題に質問と意見が集中

〈会場〉保健福祉センターはなみずき 〈参加者〉13人

市議会報告に対する主な質問・意見(新病院建設について)

- なぜ、街中に移転を計画するのか根拠が分からない。●駐車場の確保はできるか。●街中への移転は反対だ。
- 病院の機能面から今の場所の方が良い。●建設問題に市民が参加できる「場」の提供を求める。

意見交換会での主な意見

- 市の財政がマイナスになったら、市長および議員が責任を取るシステムができないか。●これまでの議会運営を見ると議会としての機能が果たされていない。●川根温泉の宿泊施設は無駄な事業だ。●これまでの市の事業計画は甘い。間違いのない資料を求める。●合併特例債の活用について、正しい使い方を説明すべきだ。

報告会で出た意見は、どうなっているの!

〈会場〉六合公民館ロクティ 〈参加者〉23人

市議会報告に対する主な質問・意見

- 議会報告会で出た意見は、議会にどのように反映されているか。●市の政策については、市民との話し合いが不足している。●川根温泉宿泊施設は、需要予測・費用対効果を予測しているか。赤字のため税金を充てなければならないなら造らない方がいい。●病院はこれから拡充しなければならない。中心市街地では狭い。経済的効果を調査してほしい等、活発に意見が出された。

意見交換会での主な意見

- 白岩寺の山道は崩壊の恐れがある。島田理化工業の跡地を利用して道路を拡幅すべきである。●自主防災会の防災用品が老朽化している。用品購入の補助率を上げてほしい。●防災無線が家の中で聞こえない。なんとかならないか。

議会での十分な審議と市民への説明を!

〈会場〉金谷南地域交流センター 〈参加者〉23人

市議会報告に対する主な質問・意見

- なぜ新病院を街中に移転するのかわかりにくい。総合計画への明確な位置付けが必要。用地買収、駐車場の確保はできるのか。住民説明会の開催を。●川根温泉の宿泊施設に18億円も掛けるといって、ペイできるのか。

意見交換会での主な意見

- 災害時の情報の伝達、避難方法、広域連携、避難所運営等防災計画の見直しが必要。●自主防災会への助成が不十分で、機材・備蓄品の調達に苦勞している。●防災には、地域のコミュニティが大事であり、地元でのハザードマップづくりが必要。●田代の郷温泉施設、お茶の郷、旧金谷中学校跡地へのメッセ計画、本通三丁目の新ショッピングビルなど、十分検討する必要があり、撤退もあり得ることだ。

防災関係に質問と意見が集中!

〈会場〉初倉公民館くらら 〈参加者〉29人

市議会報告に対する主な質問・意見

- 市は、原発問題を最優先課題として真剣に議論し、国・県に情報発信をすべきだ。●安定ヨウ素剤の使い方を市民に知らせるべきだ。●防災上の観点から、想定外を想定した避難訓練が必要だ。●場所によっては、同報無線の音声聞こえない場所があるので、対策を考えてもらいたい。

意見交換会での主な意見

- 病院を新築した場合、将来の財政負担が心配だ。今の施設を生かせないか。●川根温泉に付設するホテルの計画過程でどのような議論をしたか。●谷口橋の安全性は確保されているか。●空港に隣接する多目的施設の方向性はどうか等、行財政運営に指摘があった。

新病院建設は、市民の声を大切に

〈会場〉金谷北地域交流センター 〈参加者〉10人

市議会報告に対する主な質問・意見

●新病院建設を中心市街地とした理由がよくわからない。市民から見ると唐突な感じがする。もっと市民の声を聞くべきでは。

意見交換会での主な意見

●火災発生時の放送を再検討してほしい。●自主防災会の防災用品が老朽化している。●大井川のダムの決壊が心配だ。●新東名の用地買収が難航し、取り付け道路の整備が遅れている。交通渋滞が心配である。●インターチェンジ周辺の今後の土地利用について、市は地元と一体となって早急に動いてほしい。●廃プラ問題が情報公開されていないが、詳しいことを知りたい。

川根温泉宿泊施設の運営はどうなる

〈会場〉川根地域交流センター 〈参加者〉29人

市議会報告に対する主な質問・意見

●川根温泉宿泊施設の運営および雇用は、どのようになるのか。●新病院の中心市街地への建設は、どのような考えによるものか。

意見交換会での主な意見

●ヘリポートを家山、身成の辺りに欲しいがどうか。●台風15号のときに、FM島田で台風情報を流してほしい。●川根地区への防災資機材の配備状況はどうなっているか。●自主防等への連絡事項は、防災委員から自治会長・町内会長にも流してほしい。

視

察

報

告

総務消防常任委員会

住民参加のまちづくり

民生病院教育常任委員会

健全な病院経営と

学校づくり

経済建設文化常任委員会

観光振興の

先進地に学ぶ



10月26日、自治基本条例と公民協働の取り組みについて、大阪府岸和田市を視察しました。市政運営の原則や市民が市政に参画する基本的な考えや情報共有・協働のルールを定めた条例を、市民を中心につくりあげたことが大きな特徴でした。翌27日は、地域分権の推進に関する条例について、池田市を視察しました。全国初の試みとして、市内11地区に設立した協議会に個人市民税の概ね1%の範囲内で予算提案権を付与し、地域分権を進めていきました。地域の実情に合った政策を実施する必要性が増す中で、自治基本条例の策定に議会としてどうアプローチしていくのかが今後の課題です。

10月24日から25日にかけて東京都青梅市の青梅市立総合病院と神奈川県横須賀市を視察しました。黒字経営の青梅市立総合病院では、医師・看護師の確保が安定しており、救急救命センターを軸とした開業医との連携もスムーズに行われていました。病院長の「病院はただの診療施設でなく、町に溶け込んだコミュニティ施設であるべき」との言葉が印象的でした。横須賀市では、子供参加型学校トイレ改修の取り組みを視察しました。既成概念に捉われず、子どもたちをトイレづくりに参加させる柔軟性が、学校づくりに役立つことを学びました。

平成23年10月27日から28日にかけて、熊本県阿蘇市と大分県竹田市を視察しました。阿蘇市では、(財)阿蘇地域振興デザインセンターにおいて、地元づくりを核とした観光振興の取り組みと、開催中のイベント「阿蘇ゆるっと博」を学び、寂れた商店街からの復活を果たした阿蘇神社前町商店街の現地視察を行いました。また、竹田市では温泉療養保健システム事業を視察し、温泉資源を活用した集客施策の好事例を学んできました。当市においても観光振興は重要施策であり、学んだ成果を施策に反映させていきます。

意見書を採択しました

議会は、その自治体の公益に関することについて、国会または関係行政機関に意見書を提出することができます。11月定例会では1件の意見書を採択し、国会および関係行政機関に送付しました。

自然エネルギーの利用促進に関する意見書

東京電力福島第一原発で発生した放射性物質の放出事故は、国民生活に大きな不安と経済的損失を与え続けている。

現時点では原子力を制御する技術は完成しておらず、ばく大な放射性物質をどんな事態が起きても閉じ込めておくことは困難である。閉じ込め続けなければならない放射性物質が、一たび事故等により放出されると、被害は深刻なものとなり、長期かつ広範囲にわたることとなる。

また、放射性物質を残したままの多くの使用済み核燃料を安全に処理する技術も確立されていない。既に全国には1万トンを超える使用済み核燃料が貯蔵されている。

原発を世界有数の地震・津波国である我が国に集中的に建設してきたことは、危険極まりないことである。

日本は、太陽光や地熱、小水力、風力など原発に代わる再生可能な自然エネルギーの宝庫である。

よって、政府においては、原発から転換し、自然エネルギー利用の研究・開発と実用に本格的に取り組むよう強く求めるものである。

平成24年2月定例会の日程

平成24年第1回（2月）市議会定例会の日程は次の通りです。本会議、常任委員会等の傍聴にお越しください。いずれも午前9時30分開会予定です。

2月20日（月）本会議（議案上程：補正予算分）	3月9日（金）本会議（一般質問：個人）
2月21日（火）常任委員会	3月12日（月）本会議（議案質疑）
2月28日（火）本会議（議案上程：当初予算分）	3月13日（火）常任委員会
3月7日（水）本会議（一般質問：代表）	3月14日（水）常任委員会（予備日）
3月8日（木）本会議（一般質問：個人）	3月26日（月）本会議（最終日）

※なお、この予定は、変更となる場合があります。

編集後記

昨年、国内外において変革、変動の多い年でありました。今年は千支の辰にちなみ、昇龍の勢いで陽気が動くことを期待するものであります。

さて、11月12日・19日に行われた議会報告会は平成20年から始まり、すでに7回を数えています。市民そして議員ともども慣れたせいか、実のある活発な論議がなされました。3・11の大震災を契機とした防災および原発問題、また、病院建設と大学誘致問題には、これからの街づくりの根幹をなすものだけにご意見、ご指摘が続出しました。ただ、各会場とも参加者の数が、まだ多いとは思えませんので、次の機会にはぜひご参加を頂き、ご意見、思いをお聞かせ下さい。

本年も、「議会だより」の充実に努めますのでよろしくお願致します。



議会だより編集等に関する特別委員会

委員長 藤本 善男
副委員長 松本 敏
委員 河原崎 聖
仲田 裕子
佐野 義晴
平松 吉祝

島田市議会事務局 ☎ 36-7204
Eメール：gikai@city.shimada.shizuoka.jp

ホームページ：

http://www.city.shimada.shizuoka.jp/gikai/gikai_top.jsp